

禁煙と呼吸機能検査に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2022年12月21日～2024年3月31日

〔研究課題〕 禁煙が強制オシレーション指標に及ぼす短期効果

〔研究目的〕

禁煙による呼吸機能改善効果については、慢性閉塞性肺疾患(COPD)において1秒量(最初の1秒間に吐くことができる呼気量)が改善するとされています。一方で、強制オシレーション法(FOT)は安静呼吸で評価できる呼吸機能検査ですが、気腫や気道径、不均等換気などの詳細な生理学的変化を反映するとされています。禁煙前後でのFOT指標の変化に関する報告はないため、調査することと致しました。

〔研究意義〕

FOTの指標を解析することで、禁煙により末梢気道閉塞などの生理学的指標がどの程度改善するのかが明らかとなります。

〔対象・研究方法〕

FOTの指標は、モストグラフという機器で解析されています。帝京大学医学部附属病院において、禁煙外来を受診し3ヶ月間の禁煙治療にて禁煙に成功した患者さんを対象に、禁煙外来初診時と終診時での、モストグラフと呼吸機能検査のデータを、後ろ向きに比較検討致します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学

責任者: 帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 教授 長瀬洋之

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 氏名 長瀬洋之

職名 教授

研究分担者: 氏名 上原有貴

職名 大学院生

所属: 帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 40320]